

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		都市計画事務費 [開発事業に関する協議事務]						
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号 3	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	都市づくり（都市計画） 課		地域整備 係		課長名	稲毛 秀憲		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	4 - 1		
【施策名】 市街地の整備					総合計画書 (ページ)	83		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）				
	街づくり条例に該当する開発事業			開発事業届出書の受理件数				
	→							
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）				
	街づくり条例に基づき、開発事業を行う事業者と協議し、良好な市街地の形成を図る。			開発事業協定書の締結件数（前年度に開発事業届出書を受理し、開発事業協定書の締結を当該年度に行った件数を含む）				
	→							
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）				
	街づくり条例に基づき次の手続きを行った。 1 開発事業届出書の受理 2 事業者と関係各課の事前協議 3 開発事業協議申請書の受理 4 開発事業審査会で審査 5 審査結果に対する回答書の受理 6 協議が調ったら協定締結 7 完了検査の実施			開発事業協定書の締結件数（前年度に開発事業届出書を受理し、開発事業協定書の締結を当該年度に行った件数を含む）				
	→							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	件	17	20	26		
	成果指標	②の数値	件	20	18	27		
	目標	②の目標値 目標値設定の考え方 件数は事業者の動向に左右されるため、目標設定は困難。						
	活動指標	③の数値	件	20	18	27		
3 経費	事業費（実績）		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
	財源	一般財源	円	0	0	0		
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	円	0	0	0		
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	0.8		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	16,620,000	16,760,000	6,600,000		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	16,620,000	16,760,000	6,600,000			
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和51年度						
	(2) 環境の変化	昭和51年6月に東大和市宅地開発等指導要綱を施行し、無秩序な宅地開発等を防止するとともに、良好な市街地等の形成を行ってきた。平成22年10月に東大和市街づくり条例を施行し、市民、開発事業者及び市の協働による良好な市街地の形成及び計画的な街づくりを行っている。 開発事業に伴う公共施設等の整備や近隣住民への周知が図られることで、協調による街づくりに寄与している。						

